



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 TOA株式会社

コード番号 6809 URL <http://www.toa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 井谷 憲次

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 田中 利秀

TEL (078)303-5620

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,036	13.3	△19	—	28	107.8	△56	—
27年3月期第1四半期	7,977	4.4	△23	—	13	△95.5	△88	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △200百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 86百万円 (△89.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△1.67	—
27年3月期第1四半期	△2.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	51,364	40,387	75.2
27年3月期	54,371	41,371	72.7

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 38,623百万円 27年3月期 39,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	21.00	31.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当11円

28年3月期配当金(予想)につきましては、平成27年5月7日に「平成27年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,200	12.0	1,300	10.6	1,400	1.1	800	△3.8	23.62
通期	49,500	9.6	4,700	10.9	4,800	1.6	3,050	3.5	90.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	34,536,635 株	27年3月期	34,536,635 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	673,172 株	27年3月期	673,077 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	33,863,513 株	27年3月期1Q	33,865,635 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では企業収益改善や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復傾向にありました。海外では、米国経済の回復基調が持続するものの、中国経済は景気減速が見られ、欧州経済では先行き不透明感が強まっています。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、よい製品の供給だけに留まらず、付帯するソフトウェアやサービスなどを付加したソリューション型ビジネスを強化し、事業の拡大に努めております。また、世界5地域ごとの地産地消のビジネスモデルを加速するため、マーケティング機能を強化してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は9,036百万円（前年同四半期比+1,058百万円、13.3%増）となりました。利益については、売上高は増加したものの、原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加により営業利益は△19百万円（前年同四半期比+3百万円）、経常利益は28百万円（前年同四半期比+14百万円、107.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△56百万円（前年同四半期比+32百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

売上高は5,200百万円（前年同四半期比+407百万円、8.5%増）、セグメント利益（営業利益）は625百万円（前年同四半期比+163百万円、35.4%増）となりました。

駅舎や鉄道車両などの交通市場向けの売上高が伸長した他、減災・防災関連市場向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

（アメリカ）

売上高は983百万円（前年同四半期比+471百万円、92.2%増）、セグメント利益（営業利益）は40百万円（前年同四半期比+63百万円）となりました。

アメリカで鉄道車両向けや官公庁向けの売上高が増加したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

（欧州・中東・アフリカ）

売上高は1,219百万円（前年同四半期比+56百万円、4.8%増）、セグメント利益（営業利益）は139百万円（前年同四半期比+4百万円、3.0%増）となりました。

欧州での売上高は伸び悩みましたが、中東や南アフリカで非常用業務用放送設備の販売が伸長したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

（アジア・パシフィック）

売上高は1,211百万円（前年同四半期比+42百万円、3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同四半期比△40百万円、30.7%減）となりました。

インドネシアで政府予算執行の遅延影響はありましたが、タイやベトナムでの販売が堅調に推移したことや、為替円安により売上高は増加しました。セグメント利益は販売費及び一般管理費の増加により減少しました。

（中国・東アジア）

売上高は420百万円（前年同四半期比+80百万円、23.7%増）、セグメント利益（営業利益）は86百万円（前年同四半期比+49百万円、133.2%増）となりました。

台湾、香港地域での販売が堅調に推移したことに加え、為替円安による売上高増加もあり、売上高、セグメント利益は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は51,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,006百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、配当金支払による利益剰余金の減少などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成27年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,034	14,870
受取手形及び売掛金	11,170	7,464
有価証券	2,300	2,300
商品及び製品	5,869	6,728
仕掛品	750	981
原材料及び貯蔵品	2,536	2,462
その他	1,262	1,623
貸倒引当金	△138	△110
流動資産合計	39,785	36,319
固定資産		
有形固定資産	6,682	6,613
無形固定資産	1,427	1,414
投資その他の資産		
投資有価証券	5,714	6,208
投資その他の資産	772	818
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	6,476	7,016
固定資産合計	14,585	15,044
資産合計	54,371	51,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,478	3,383
短期借入金	1,011	1,072
未払法人税等	611	211
引当金	344	249
その他	2,405	1,798
流動負債合計	8,851	6,716
固定負債		
退職給付に係る負債	2,633	2,569
その他	1,514	1,691
固定負債合計	4,148	4,260
負債合計	12,999	10,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	23,881	23,113
自己株式	△392	△392
株主資本合計	35,635	34,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,301	3,629
為替換算調整勘定	559	85
退職給付に係る調整累計額	17	40
その他の包括利益累計額合計	3,879	3,755
非支配株主持分	1,857	1,764
純資産合計	41,371	40,387
負債純資産合計	54,371	51,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,977	9,036
売上原価	4,429	5,284
売上総利益	3,548	3,751
販売費及び一般管理費	3,571	3,771
営業損失(△)	△23	△19
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	36	34
その他	29	24
営業外収益合計	70	67
営業外費用		
支払利息	4	6
為替差損	22	10
その他	7	1
営業外費用合計	34	19
経常利益	13	28
特別利益		
固定資産売却益	42	—
特別利益合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	56	28
法人税等	84	96
四半期純損失(△)	△28	△68
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88	△56

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)
四半期純損失 (△)	△28	△68
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249	328
為替換算調整勘定	△265	△483
退職給付に係る調整額	131	23
その他の包括利益合計	115	△132
四半期包括利益	86	△200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4	△179
非支配株主に係る四半期包括利益	90	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,793	511	1,163	1,169	340	7,977	—	7,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,253	2	1	982	697	2,937	△2,937	—
計	6,046	514	1,165	2,151	1,037	10,914	△2,937	7,977
セグメント利益又は損 失(△) (営業利益又は営業損 失(△))	462	△22	135	130	36	742	△765	△23

(注) セグメント利益の調整額△765百万円には、セグメント間取引消去△14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△750百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ (注2)	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,200	983	1,219	1,211	420	9,036	—	9,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,617	5	1	1,080	886	3,591	△3,591	—
計	6,817	988	1,220	2,292	1,307	12,627	△3,591	9,036
セグメント利益又は損 失(△) (営業利益又は営業損 失(△))	625	40	139	90	86	982	△1,002	△19

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,002百万円には、セグメント間取引消去△145百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△856百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. 当第1四半期連結会計期間より、従来の「欧州・ロシア」から「欧州・中東・アフリカ」へとセグメントの名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第1四半期連結累計期間についても、当第1四半期連結累計期間と同様に「欧州・中東・アフリカ」と記載しております。